多治見西ロータリークラブ WEEKLY REPORT

写真　修道院

第 2630 地区

第 47 期会長テーマ

みんなでつくる奉仕の心

例会日　毎週木曜日
事務局　多治見市新町 1-23
産業文化センター４F
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
E-mail n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP　http://tajiminishi.jimdo.com/
会長　各務和宏　幹事　山田正史

第 2267 例会 2013 年 1 月 24 日（木）

１月はロータリー理解推進月間

本日のプログラム

点　鐘

ロータリーソング　それでこそロータリー

四つのテスト

会長挨拶

出席・スマイル報告

委員会報告

幹事報告

卓話者紹介　伊藤正雄君

卓　話

可児工業団地協同組合　古田千尋様

「水戸黄門のリーダーシップ」

点　鐘

卓話者のご紹介

古田千尋様（ふるたちひろ）

学歴　1980 年 3 月　早稲田大学政治経済学部

経済学科卒業

職歴　1980 年 4 月　大垣共立銀行入行

1990 年 10 月

大蔵省系シンクタンク

（財）国際金融情報センター出向

1993 年 4 月大垣共立銀行国際部調査役

2011 年 5 月可児工業団地協同組出向

著書　2007 年 8 月

「桃太郎が成功した理由

時代劇に学ぶ経営のヒント 10 章」

着信書類

・米山ハイライト

・ガバナーエレクト事務所より

2013～14 年度会長名幹事名確認のお願い

先週の記録

◆出席報告　　会員数 37 名　出席義務者 32 名
　　免除者 5 名　　内出席者 2 名

出席者	欠席者	出席率
27 名	7 名	79.41%

◆スマイル報告
　　投函者　22 名　金額　22,000 円

・今年もよろしく。　　佐々木鉾二
・次年度、よろしくお願いします。　伊藤義弘
・昨日、日比谷公会堂に於いて安全運転管理部会が表彰を受け、本日多治見警察署に於いて報告させて頂きました。管理者の皆さん御苦労様。
　　嶋内龍男

今後の予定

1 月 26 日（土）Ｒ財団資金管理セミナー
　　12:30 点鐘　岐阜都ホテル
　　出席者：会長エレクト
1 月 31 日　　卓話　Ｒアクト担当　大嶽政彦君
2 月 7 日　　定例理事会　3Ｆ特別会議室　11:30

下半期各種分担金・寄付金送金依頼について

① ガバナー事務所分担金　¥1150×会員数
② ガバナー月信　¥500×会員数
③ 地区資金　¥5250×会員数
④ 米山奨学普通寄付金　¥1500×会員数
⑤ ロータリーの友　¥1260×会員数
⑥ ＲＩ分担金　$26×会員数

委員会報告

◆新世代・Ｒアクト委員会より
　　委員長　大澤大二

現在多治見ローターアクトクラブは一時期会員が 5-6 名まで減少し心配した時期がありましたが、実質 9 名で地区代表を輩出し張り切って活動を行っています。近年会員が地元以外の職場から例会に駆けつけるために、必ずしも良い出席率とは言えなかったのですが、今期上半期の 12 回の例会中半分の 6 回が 100%の出席率であったことは、如何に彼らが一生けん命支えあっているかが窺い知れ地区を受け持っている責任の表れと観てよいと思います。昨年末の忘年例会と今年初めの新年例会に相次いで出席しましたが、少ない予算と時間の中企画を考えつく彼らにいつも感心して帰ってまいりました。今回の新年例会では、今年を表す漢字一文字を書き初めする企画があり、以前はサインペンだったのが今回は毛筆での揮毫で、各ロータリアンとも難儀しましたが、私の場合は色々なことを続け伸ばすことを念頭に「続」と書いておきました。文字通り今まで続けてきたことを伸ばす一年にしたいものです。
もう一つ新しい情報としては、次年度の地区代表を初めて名城大学から出すことが決定して、新代表のしっかりとした挨拶がありました。しかしその前に 6 月の年次大会を成功させなければなりませんが、きっと大丈夫であろうと確信しております。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。

◆国際奉仕委員会より
南姫小学校からお借りした作品、書 50 点絵画 50 点と表彰状 100 枚を 1 月中に苗栗ＲＣに郵送します。

1 月はロータリー理解推進月間

ロータリーの綱領の日本語訳が久しぶりに「ロータリーの目的」と改定され発表されました。
新「ロータリーの目的」
　ロータリーの目的は、意義のある事業の基盤として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。
第 1　知り合いを広めることのよって奉仕の機会とすること。
第 2　職業上の高い理論基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものとして認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
第 3　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
第 4　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界のネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。